

令和 8 年第 1 回士幌町議会定例会

教育行政報告

令和 8 年 2 月 1 2 日

士幌町教育委員会

令和8年第1回定例会の開会にあたり、教育行政報告を申し上げます。

■インフルエンザの状況について

はじめに、町内小・中学校、高等学校におけるインフルエンザの感染状況について報告いたします。

12月から本年1月末までの感染状況は、小学校3校で7名、中学校で37名、高校で10名の感染が確認されているところです。

十勝管内においても一部の学校で、学級閉鎖等の措置がとられており、本町においては、士幌町中央中学校の1学年を12月8日から12日まで、3年A組を12月11日から14日まで、それぞれ学年・学級閉鎖の措置を講じたところです。

今後も状況を注視しながら、引き続き感染感染対策に務めるよう各学校に指示したところであります。

■学校教育について

次に、学校教育関係について報告申し上げます。

・学習サポートについて

12月25日に士幌小学校開催で、中士幌小学校と合同で学習サポートを実施し、冬休み期間の学習目標の確認や、各担任からの課題、家庭で使用している問題集など、集中して学習に取り組む姿が見られました。士幌町中央中学校では、生徒に落ち着いた学習環境の場として「冬休みウォーミングスペース」を12月25日、26日、1月7日、8日の4日間実施し、学習を希望する生徒に対して個別に支援を行うなど一人ひとりの課題に応じて丁寧な指導する学習意欲の向上を図ったところであります。

また、教育委員会では、12月25日と26日の2日間、北海道大学の学生10名が町内の小・中学生に勉強を教えたり、一緒に体を動かしたりする「冬休み学習サポート塾」を開催し、

上居辺小学校は2日間、中士幌小学校は26日にそれぞれ参加したところであります。全体では延べ92名の小・中学生が参加しております。

これらの事業は、個別指導により細かく行き届いた支援を行うことで、基礎的な学力向上を図ることができ、各学校では一般の先生方も指導に加わり、充実したサポート体制が組まれて効果を生み出しており、今後一層の充実を図ることにしております。

・全道・全国中学校スケート大会について

1月10日、11日に帯広市で開催された第56回北海道中学校スケート大会に士幌町中央中学校男子4名、女子4名が出場し、鈴木凱大さんが男子500mで惜しくも2位となる結果でしたが、1000mでは見事優勝を果たしました。また、河村京葉さんが女子1000mで3位、1500mで2位、小野寺仁菜さんが女子3000mで3位と好成績を収めたほか、飯島昂生さんが男子500mで7位、大野隆晴さんが男子3000mで6位、5000mで7位と入賞を果たしたところであります。また、1月31日から長野県長野市で開催された令和7年度全国中学校体育大会第46回全国中学校スケート大会には、男子3名、女子3名が出場し、鈴木凱大さんが男子500mで2位、1000mで8位、河村京葉さんが女子1000mと1500mで4位に、小野寺仁菜さんが女子1500mで7位、3000mで4位に入賞しました。

選手個々の努力とそれを支えてこられた保護者及び関係者各位に対し、深く敬意を表すると共に、今後の更なる活躍を期待するところです。

・学校部活動の地域展開について

12月2日及び1月27日に士幌町部活動地域展開準備会を開催し、部活動地域展開の進め方や管内の事例紹介を行うとともに、準備会委員の中でグループワークや、実際のクラブチームの運営状況を知るための意見交換などを実施し、現状の部活

動地域展開における課題など様々な意見交換を行ったところです。

また、国においては、令和7年12月22日付けで、『部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン』が策定されました。概要としましては、これまでの改革推進期間に引き続き、令和8年度から改革実行期間をスタートし、令和10年度までの3カ年を前期、令和11年度から令和13年度までの3カ年を後期として、前期の間に「確実に休日の地域展開等の着手を行うこと」、後期の間までに「原則全ての学校部活動において地域展開の実現を目指す」とされたところであります。

今後においても、少子化の中でも、将来にわたり、子ども達がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保することを目的に、国の補助制度なども注視しながら取り組みの推進を図ってまいります。

・ 土幌町いじめ防止子ども会議

12月2日に町内の小・中・高校生の代表者が一堂に会し、「土幌町いじめ防止子ども会議」が開催され、参加した児童生徒からは、自校のいじめ防止のための取り組みを発表するなど、校種・世代を越えて活発な意見交換が行われました。

会議の最後では、話し合った内容を元に、土幌町全学校でのいじめ防止の取組として、「ふわふわ言葉ちくちく言葉の掲示」、「学年をまたいだイベントの計画実施」などの取組や、「うれしい言葉を言おう」、「言葉遣いに気をつけよう」、「見て見ぬふりをしない」のスローガンを採択し、各学校で取り組みを進めていくことを確認しました。

教育委員会としても、改めて、いじめはいかなる理由があっても許されるものではないとの認識を学校と共有し、子ども達が安心・安全に通うことができる学校環境の整備を図ってまいります。

なお、「土幌町いじめ防止子ども会議」は、来年度以降も継続して実施する予定です。

■学校給食について

次に、学校給食に関して報告申し上げます。

今年も、給食で人気食材の一つである「しほろ牛肉」を士幌町肉牛振興会から無償提供を受け、2月はしほろ牛めしの献立内容で延べ4回提供したところです。また士幌高校産大豆を使用した豆腐を食材として、マーボー豆腐やみそ汁の具材として提供してきたところです。食育基本法の食育は生きる上での基礎で様々な経験と通じて食に関する知識を習得し、健全な食生活の実践が目的となっており、食と農を学ぶ上で身近な教材であり、食材を提供していただきました士幌町肉牛振興会、士幌高等学校に対しこの場をお借りし深く感謝を申し上げます。

中学校最後となる3年生を対象に「もう一度食べたいリクエスト給食」としてアンケートを実施して、学校生活の中で楽しい給食の心に残る思い出となるよう提供したところです。

■士幌高等学校について

次に、士幌高等学校に関して報告申し上げます。

・士幌町議会本会議傍聴について

12月9日に2年生41名が第4回士幌町議会定例会の一般質問を傍聴しました。生徒より「議会や議員のイメージが変わった」「士幌町のこれからについて議論する場だと改めて感じた」などの声が聞かれ、社会と政治を学ぶ貴重な経験となったところです。

・士幌高等学校創立75周年記念事業について

12月16日に総合研修センターにおいて、士幌高等学校創立75周年を記念し、チームナックスの森崎博之さんを講師に迎えた講演会が開催され、約180名が参加しました。

「生きることは食べること」をテーマとし、命をいただくことについて、日々の生活と深く結びつく様々な話をさせていただきました。

また、質問コーナーでは生徒より多くの質問が寄せられ、生徒や職員、保護者、同窓生、町民にとって心に残る記念講演となりました。

・ 令和 8 年度入学者選抜について

令和 8 年度入学者選抜の出願状況は、アグリビジネス科 12 名、フードシステム科 26 名となっております。2 月 10 日には推薦入学者選抜の面接を、3 月 4 日と 5 日には一般入学者選抜の学力検査と面接をそれぞれ実施し、今後も入学生の確保に努めてまいります。

■ 社会教育について

次に、社会教育関係について報告申し上げます。

・ 各種学習活動について

各種学習活動では、女性ライフスクールがパークゴルフやしほろキッチンを利用した菓子パンづくりなど計画に基づいて学習活動を行っています。中士幌地区においては町内在住の講師によるレジニアクセサリー作りの体験が計画されています。柏樹学級においても、学習会や上士幌シルバー学級との交流会が行われました。

・ 文化活動について

文化活動では、1 月 5 日、総合研修センター武道館で第 29 回新春書初大会を開催しました。小学生から高校生、青年会など 30 名が参加しました。作品は 1 月 7 日から 19 日まで総合研修センターのロビーで展示しました。

■スポーツについて

・スケートについて

スポーツ関係につきましては、農村運動公園スケートリンクが12月28日にオープンし、1月24日に町民スケート大会、1月17日に全十勝スピードスケート士幌大会が開催されました。冬休み期間中にはスケート教室と1月31日にはリンク納め記録会が開催され、2月10日に閉鎖といたしました。今シーズンは適度な降雪と気温のため、また、町スケート協会の適切なリンクの造成維持管理により、良好なコンディションを保つことができたことに深く感謝を申し上げます。

・その他のスポーツについて

その他、各競技団体等による各種大会が開催されて町民自らがスポーツの振興に積極的にかかわる姿もみられます。

以上申し上げ、教育行政報告といたします。